

ISO 14034 Technical Report の検討状況

1. 状況

ISO/TC207/SC4/WG5 では、ISO 14034 の Technical Report (TR) を作成中で、ドラフティングが始まっており、昨年 12 月の WG5 会合でドラフトが議論された。

2. 2月の国際小委員会での検討

TR に要求的な点を入れるべきでないとの意見が中心であった。例えば：

—実証機関の質の担保の議論があるが、担保することは入れない方がよい。

—ISO17020 (適合性評価—検査機関の運営に関する要求事項) の適合性評価の方法 (パターン) についても議論があるが、入れない方がよい。

3. TR の Scope

12 月の WG5 会合では、まだ Scope のドラフトがない状況であったが、次のドラフティングでは、Scope のドラフトについて、大野香代 国際小委員会委員 (産業環境管理協会 国際協力・技術センター所長) が取りまとめとなった。

2 月の国際小委員会での検討を受け、大野委員より提出された Scope のドラフトの概要は以下の通りである。

TR は、ETV のプロセスを支援する情報を提供するものである。TR は、申請者、実証機関、試験機関の役割と責任を説明し、ETV の各手続きの実施を助けるものである。

(重要) TR は、ISO 14034 を越える要求事項を含まない。

4. 今後の予定

2018 年 5 月 23～25 日 次回 WG 会合 (パリ)

2018 年 9 月 次々回 WG 会合 (東京)

加えて、TR 案への投票が見込まれる。

以上